水仙（灘黒岩水仙郷）

わたしたちのマチの景況レポート No. 24

2020 年 10～12 月期実績・2021 年 1～3 月期見通し

今日も　楽しい　おつきあい

淡路信用金庫

調査概要

１．調査時期　　：2020 年 10～12 月期実績・2021 年１～３月期見通し

２．調査方法　　：当金庫の営業店職員による「聴取り」調査

３．調査企業数　：677 社

製　造　業	154 社	卸　売　業	101 社	小　売　業	115 社
サービス業	115 社	建　設　業	143 社	不 動 産 業	49 社

４．調査地区　　：当金庫事業地区（洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市）

５．分析方法：Ｄ．Ｉ．（「良い」「増加」「上昇」の回答割合 －「悪い」「減少」「下降」の回答割合）
※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

指標	内容	プラス	マイナス
業況	調査時点での回答企業の業況 「良い」－「悪い」	**良い**＞悪い	良い＜**悪い**
売上額	前期（四半期）と比較した売上 「増加」－「減少」	**増加**＞減少	増加＜**減少**
収益	前期（四半期）と比較した収益 「増加」－「減少」	**増加**＞減少	増加＜**減少**
販売価格	前期（四半期）と比較した販売価格 「上昇」－「下降」	**上昇**＞下降	上昇＜**下降**
仕入価格	前期（四半期）と比較した仕入価格 「上昇」－「下降」	**上昇**＞下降	上昇＜**下降**
人手過不足	調査回答時点での人手 「過剰」－「不足」	**過剰**＞不足	過剰＜**不足**
資金繰り	前期（四半期）と比較した資金繰り 「楽」－「苦」	**楽** ＞ 苦	楽 ＜ **苦**
設備投資企業割合	設備投資実施の有無		

例

人手不足▲50とは

人手	(1)過剰 (2)やや過剰 (3)適正 (4)やや不足 (5)不足

⬇ 回答数を集計し、回答割合を算出

	(1)過剰	(2)やや過剰	(3)適正	(4)やや不足	(5)不足	合計
回答数	35	35	210	280	140	700
回答割合	5.0%	5.0%	30.0%	40.0%	20.0%	100.0%

人手不足＝　10　－　60　＝ ▲50

【問合せ先】
淡路信用金庫　業務部
担当：柏木（かしわぎ）、簑田（みのだ）、三倉（みくら）
TEL：0799-22-1020

業種別地区別天気図

地区／業種	全事業地区（677先）			淡路地区（392先）			神明地区（285先）		
時期	2020年7～6月（前期）	2020年10～12月（今期）	2021年1～3月（見通し）	2020年7～9月（前期）	2020年10～12月（今期）	2021年1～3月（見通し）	2020年7～9月（前期）	2020年10～12月（今期）	2021年1～3月（見通し）
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

好調← →低調

全業種

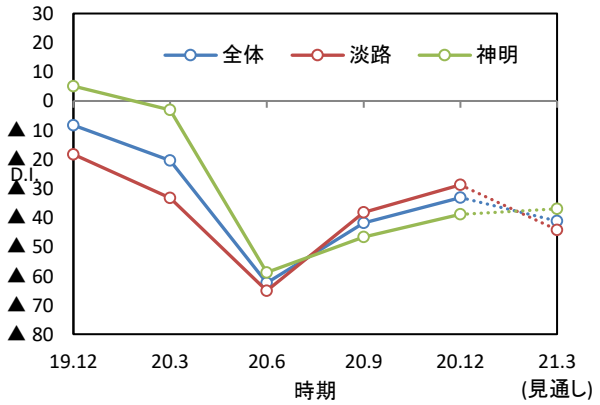
前期 今期 来期

今期（2020 年 10～12 月期）の業況は、▲33.1 となり、前期（2020 年 7～9 月期）に比べ 8.7 ﾎﾟｲﾝﾄ改善されたものの、新型コロナウイルス感染症拡大による景気の冷え込みで依然水準は低い。

項目別では、売上額▲18.0（前期▲13.1）はマイナス幅が拡大、仕入価格は 6.5（前期 12.1）と前期より低下するも販売価格も▲5.6（前期▲1.9）低下し、売上額の悪化と相まって収益は▲18.8（前期▲15.9）とマイナス幅が拡大している。資金繰りについては、前期より苦しいと回答した割合は 0.5 ﾎﾟｲﾝﾄ拡大した。雇用面ではコロナ禍にあっても人手不足感は強まっている。

次期（2021 年 1～3 月期）の見通しは、神明地区は低水準ながら持ち直しの兆しがあるが、淡路地区は前期を下回る見込みで感染再拡大が続く中、企業の生産や個人消費が再び停滞する懸念が強まっている。

業況判断 D.I.の推移（地区別）



(D.I.)

	20年9月（前期）	20年12月（今期）	21年3月（見通し）
業況	-41.8	-33.1	-41.2
売上額（前期比）	-13.1	-18.0	-34.3
収益（前期比）	-15.9	-18.8	-32.6
販売価格（前期比）	-1.9	-5.6	-10.0
仕入価格（前期比）	12.1	6.5	3.3
人手過不足（過剰－不足）	-17.8	-21.8	-19.8
資金繰り（楽－苦）	-3.8	-4.3	-8.0
設備投資実施企業割合（%）	22.4	22.3	18.0

製造業

今期の業況は、▲49.4 と低水準ながら 7.7 ﾎﾟｲﾝﾄ改善となったが、次期の見通しは 3.8 ﾎﾟｲﾝﾄの悪化と依然として厳しい状況が続く。

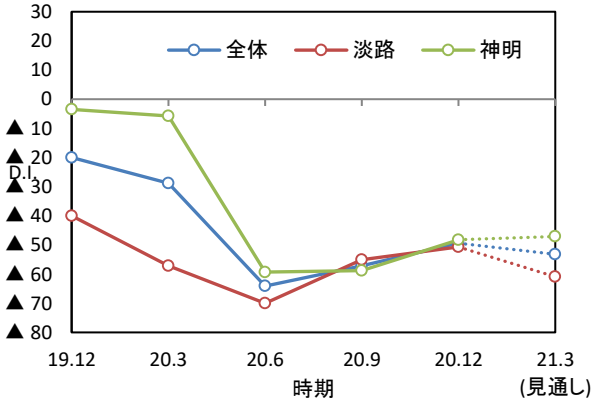
売上額▲25.3（前期 31.2）、収益▲27.9（前期▲35.7）と共にマイナス幅は縮小するものの、次期の予想は、新型コロナウイルス感染症の再拡大懸念から前期をも下回る見通し。雇用面での人手は、5.2 ﾎﾟｲﾝﾄマイナス幅が拡大し不足感は強まっている。

お客様の声

コロナ禍により減収減益で推移。現在金融支援に加え補助金等活用しながら資金繰りを工面し、事業活動の PDCA を回している。DI のマイナス幅からコロナ禍の影響の深刻さが窺える。（淡路）

コロナ禍の影響により主力先の業況が低迷したままで、回復の見通しが立たない状況。売上減収分は役員報酬等固定費の削減でカバーし、受注環境が回復するまで凌いでいく。（神明）

業況判断 D.I. の推移（地区別）



(D.I.)

	20年9月（前期）	20年12月（今期）	21年3月（見通し）
業況	-57.1	-49.4	-53.2
売上額（前期比）	-31.2	-25.3	-42.9
収益（前期比）	-35.7	-27.9	-41.6
販売価格（前期比）	-5.2	-7.1	-11.0
仕入価格（前期比）	6.5	6.5	3.3
人手過不足（過剰－不足）	-7.8	-13.0	-9.1
資金繰り（楽－苦）	-16.2	-15.6	-17.5
設備投資実施企業割合（%）	24.8	20.5	18.5

卸売業

今期の業況は、前期の▲43.6 から 3.9 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化の▲47.5。次期の見通しは▲51.5 ﾎﾟｲﾝﾄと、さらに悪化が予想されており厳しい状況に変わりはない。

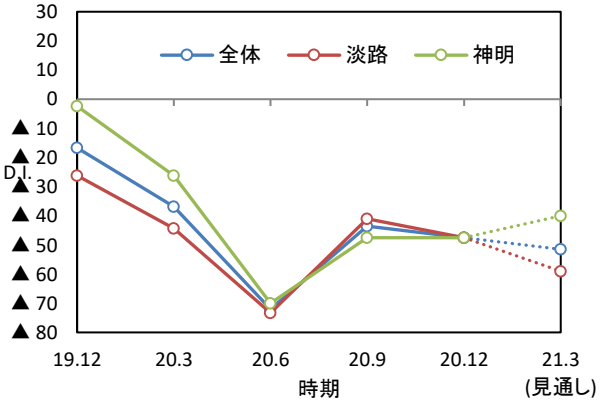
項目別では、仕入れ価格は、プラスからマイナス▲5.0（前期 15.8）に改善したものの、売上額の落ち込み▲30.7（前期▲9.9）が収益面にも影響し、前期比 22.8 ﾎﾟｲﾝﾄマイナス幅拡大の▲33.7 と大きく悪化した。資金繰りは前期と横ばいで楽という企業が苦しいという企業を僅かながら上回っている。

お客様の声

コロナの感染症拡大により地元飲食店への売上高は減少しているが、インターネット部門及びふるさと納税返礼品でカバーし収益は確保できている。（淡路）

コロナ禍により売上は低迷しており、既存商品の回復が見込めない事から、今後は社会の流れになっている環境に配慮した商品及び海外市場を見据えた販売ルートの確立を目指していく。（神明）

業況判断 D.I. の推移（地区別）



(D.I.)

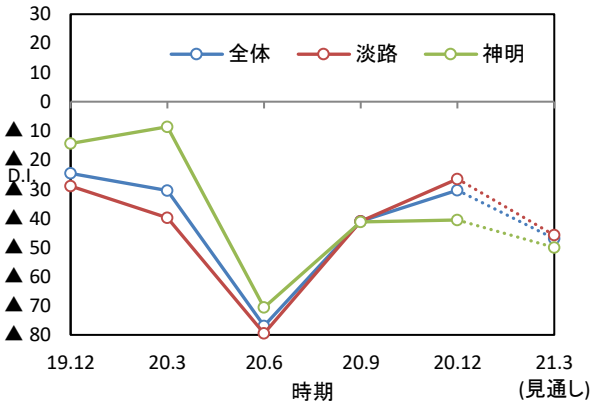
	20年9月（前期）	20年12月（今期）	21年3月（見通し）
業況	-43.6	-47.5	-51.5
売上額（前期比）	-9.9	-30.7	-50.5
収益（前期比）	-10.9	-33.7	-41.6
販売価格（前期比）	6.9	-6.9	-15.8
仕入価格（前期比）	15.8	-5.0	-9.0
人手過不足（過剰－不足）	-10.9	-9.0	-7.1
資金繰り（楽－苦）	3.0	3.0	2.0
設備投資実施企業割合（%）	16.2	19.6	11.3

小売業

前期　今期　来期

今期の業況は、前回調査時の見通しでは、さらに悪化するとの予想であったが、コロナへの警戒感の後退等により、▲30.4と前期比10.6ポイント改善した。しかし12月以降コロナ感染症の再拡大により個人消費に停滞が見られることから、次期は業況で▲47.0、売上額▲40.0、収益▲40.9と前期以下まで大幅な悪化の見通しである。人手不足感はやや強まり、資金繰りについては、コロナ禍の長期化から▲7.0と6.3ポイントマイナス幅が拡大した。

業況判断D.I.の推移（地区別）



お客様の声

コロナ禍により来店客は減少しているがオンラインショップ等を活用することで売上が確保できている。今後はオンライン商談会等に積極的に参加し販路拡大を目指す。（淡路）

外出自粛要請中は巣籠り需要で売上は増加したが、現在は落着いている。フードロスを減らし先行きを考えて販売チャネルをもっと持っておきたい。（神明）

（D.I.）

	20年9月（前期）	20年12月（今期）	21年3月（見通し）
業況	-41.0	-30.4	-47.0
売上額（前期比）	-1.7	-21.7	-40.0
収益（前期比）	-6.8	-19.1	-40.9
販売価格（前期比）	2.6	-5.2	-9.6
仕入価格（前期比）	11.1	5.2	2.6
人手過不足（過剰－不足）	-17.1	-21.9	-20.2
資金繰り（楽－苦）	-1.7	-7.0	-14.8
設備投資実施企業割合（%）	16.2	15.6	11.0

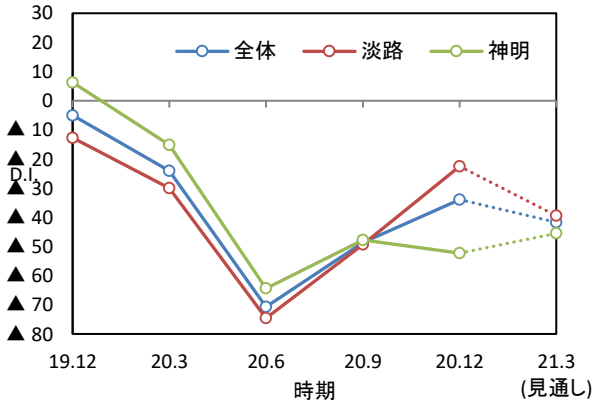
サービス業

前期　今期　来期

今期の業況は、依然厳しい状況ではあるが、GoToキャンペーンの浸透等により▲33.9と前期比14.8ポイント改善した。地区別では、淡路地区は▲22.5と26.8ポイントマイナス幅が縮小、一方神明地区は▲52.3と4.5ポイントマイナス幅が増加し、淡路地区での回復が窺える。

売上額▲8.7（前期▲2.6）、収益▲12.2（前期▲3.4）については、ともに悪化となっている。次期予想については、コロナ感染症の再拡大懸念により業況は7.8ポイント減少の▲41.7、売上額・収益も各々▲30.4・▲32.2までマイナスが拡大見通しである。

業況判断D.I.の推移（地区別）



お客様の声

コロナ禍により売上高が減少傾向にあった事から物販販売業に特化し徐々に売上は伸びている。コロナの影響が長引けば、店舗営業から物販事業の拡大で収益確保を図る。（淡路）

コロナの再拡大傾向以降売上は減少となっている。来店客の減少に伴い若手スタッフの実務経験が不足しており、人材教育の面からも影響を受けている。（神明）

（D.I.）

	20年9月（前期）	20年12月（今期）	21年3月（見通し）
業況	-48.7	-33.9	-41.7
売上額（前期比）	-2.6	-8.7	-30.4
収益（前期比）	-3.4	-12.2	-32.2
販売価格（前期比）	-5.1	-4.4	-4.3
仕入価格（前期比）	11.1	8.7	4.3
人手過不足（過剰－不足）	-21.4	-26.1	-27.0
資金繰り（楽－苦）	-8.5	-7.0	-11.3
設備投資実施企業割合（%）	26.1	27.4	26.4

建設業

前期 今期 来期

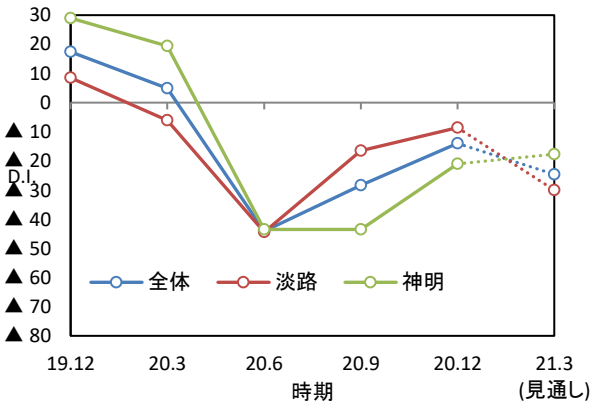
今期の業況は、前期▲28.4 から 14.4 ﾎﾟｲﾝﾄ改善し▲14.0 の状況となっている。売上額▲11.2（前期▲17.0）、収益▲9.8（前期▲19.1）は、依然マイナスではあるが、改善傾向にある。雇用面では、▲40.8 と前期比 6 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化と慢性的な人手不足であり、大きな問題点となっている。資金繰りは 4.9 と前期比 0.6 ﾎﾟｲﾝﾄと僅少ながら良化している。次期予想しとしては、新型コロナウイルス感染症拡大を懸念して、業況、売上額、収益とも悪化見通しである。

お客様の声

リモートワーク等の普及につれて淡路島への移住の増加により新築やリフォーム工事の受注が増加傾向にある。今後官公庁からの発注は減少見込みなので一般家庭や民間企業からの受注に注力していく。　（淡路）

コロナ禍により近隣住民説明会が開催できず工事の延期を余儀なくされている。事業構造的に業況改善に時間を要すると判断し、既存事業と並行して新事業への進出を画策している。　（神明）

業況判断 D. I. の推移（地区別）



（D.I.）

	20年9月（前期）	20年12月（今期）	21年3月（見通し）
業況	-28.4	-14.0	-24.6
売上額（前期比）	-17.0	-11.2	-21.7
収益（前期比）	-19.1	-9.8	-21.0
販売価格（前期比）	-5.7	-6.3	-11.9
仕入価格（前期比）	19.1	14.0	11.2
人手過不足（過剰－不足）	-34.8	-40.8	-37.3
資金繰り（楽－苦）	4.3	4.9	0.0
設備投資実施企業割合（%）	26.4	27.1	20.7

不動産業

前期 今期 来期

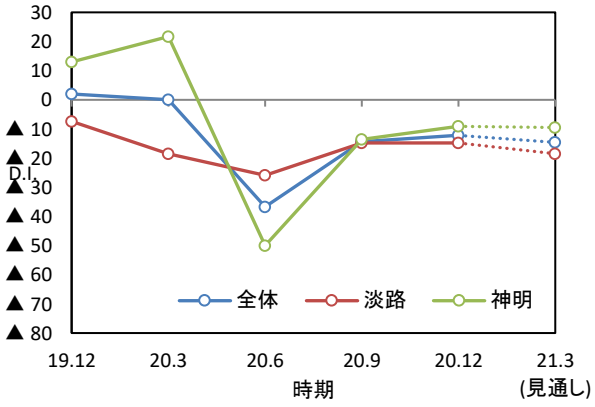
今期の業況は、▲12.2 と前期比 2.1 ﾎﾟｲﾝﾄ改善。売上額はマイナス推移ながら、収益・販売価格ともに 0.0 まで回復している。仕入れ価格については、前期比横ばいで高止まり感が見受けられる。次期の予想は、業況は▲14.6 と今期より 2.4 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化見込み。売上額はマイナス幅が増加▲6.1（今期▲2.0）、収益▲2.0（今期 0.0）及び販売価格▲4.1（今期 0.0）も共にマイナスに下降見通しである。

お客様の声

大手企業の本社移転に伴い、物件は不足気味であるが不動産の動きは活発。今後も当面は物件価格の上昇傾向が続くと予想している。　（淡路）

コロナ禍においてテレワークの浸透から在宅勤務をする人が増加しており、マイホーム取得需要は高い。但し、収入減少の不安から高価格帯物件の動きは鈍い。　（神明）

業況判断 D. I. の推移（地区別）



（D.I.）

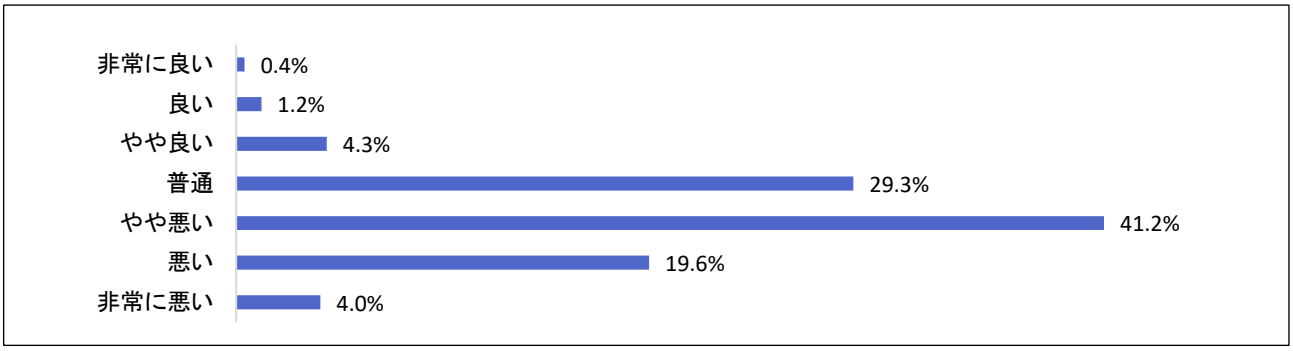
	20年9月（前期）	20年12月（今期）	21年3月（見通し）
業況	-14.3	-12.2	-14.6
売上額（前期比）	-4.1	-2.0	-6.1
収益（前期比）	-6.1	0.0	-2.0
販売価格（前期比）	-2.1	0.0	-4.1
仕入価格（前期比）	6.3	6.3	4.2
人手過不足（過剰－不足）	-8.2	-10.4	-10.6
資金繰り（楽－苦）	4.1	2.0	2.0

問 1　2021 年の日本の景気をどのように見通していますか。

2021 年の日本の景気見通しについての問いに対し、「悪い」（「やや悪い」・「非常に悪い」の項目含む）との回答が 90.2%占め、「良い」（「やや良い」・「非常に良い」の項目含む）の回答 1.7%を大きく上回りコロナ禍収束時期の不確実さが影を落とす。地区別では、淡路地区は、「やや悪い」が最も多く 43.4%、次いで「悪い」が 37.2%。神明地区も、「やや悪い」が最も多く 41.8%、次いで「悪い」が 42.1%と地区毎の差はないが、業種別は製造業・小売業・サービス業で「悪い」の割合が一番多くなっている。

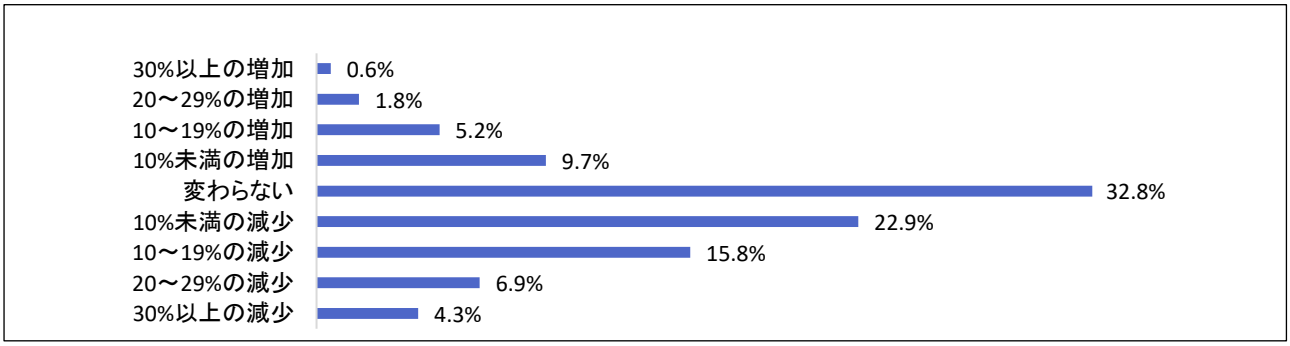
問 2　2021 年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。

2021 年の自社の業況についての問いに対し「やや悪い」の回答が 41.2%と一番多く、「悪い」・「非常に悪い」の項目を含めると 64.8%を占めている。一方、「普通」の回答が 29.3%、「やや良い」・「良い」・「非常に良い」の項目合計は 5.9%に留まる。淡路・神明地区別でも差はなく「やや悪い」の回答が一番多いが、業種別では不動産業のみ「普通」が最も多くなっている。



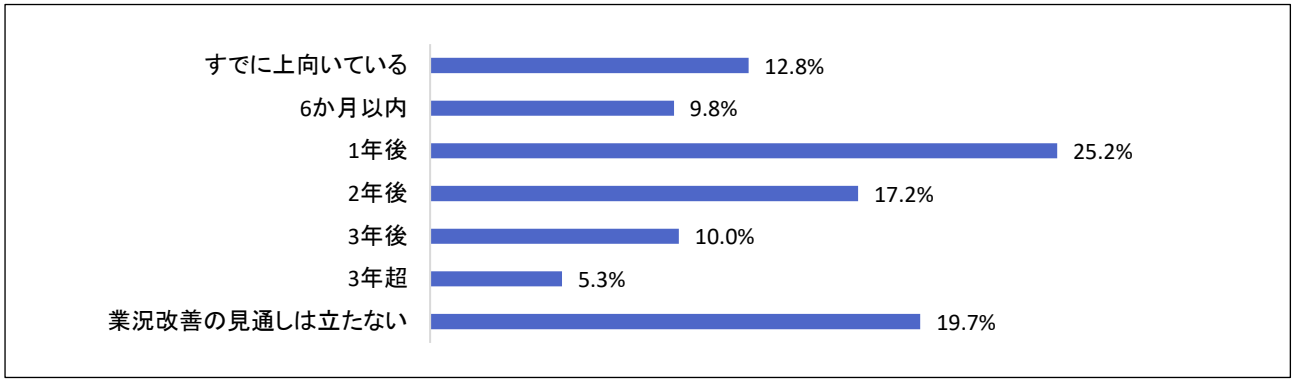
問 3　2021 年において売上額の伸び率は、2020 年に比べてどのくらいになると見通していますか。

2020 年対比で 2021 年の売上額の伸び率について回答を求めた。「変わらない」の項目が 32.8%と最も多いが、前年比「減少」項目の合計割合が約半数を占める。但し減少を予想する半数のうち「10%未満の減少」が 22.9%を占めている。一方で前年比「増加」の項目合計の割合が 17.3%に留まっている。淡路・神明地区別でも差はなく「変わらない」の項目が一番多いが、業種別では小売業とサービス業が「変わらない」と同じ割合で「10%未満の減少」が最も多くなっている。コロナ禍の影響を受けやすい業種であり慎重な見通しとなっている。



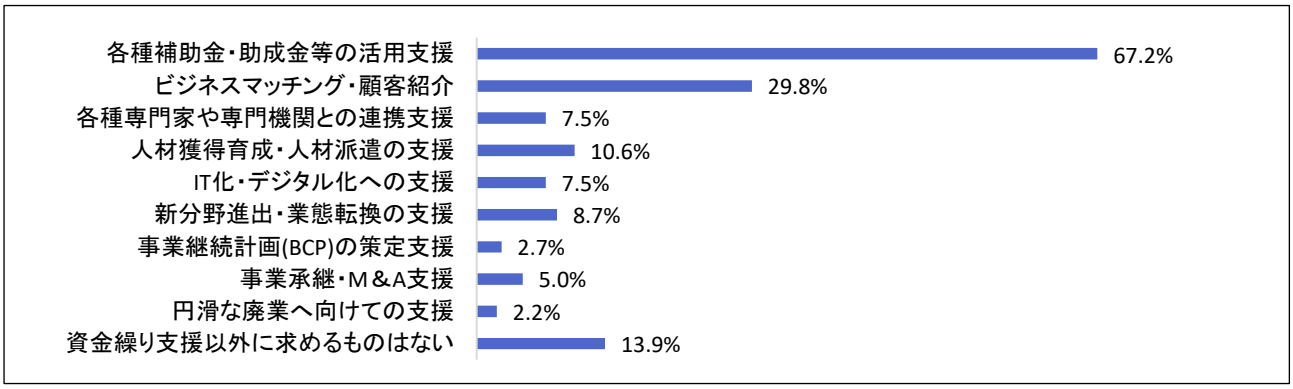
問４　自社の業況が上向く転換点をいつ頃と見通していますか。

自社の業況が上向く転換時期について回答を求めた。最も多かった項目は「1 年後」で 25.2%の割合となり、これに「6 ヶ月以内」・「すでに上向いている」の項目を合計すると 47.8%となり、約半数の企業が 1 年以内を予想している。次に多かったのが「業況改善の見通しが立たない」の回答で 19.7%の割合となっている。地区別では、淡路地区でも「1 年後」の項目が一番多く 26.1%、次いで「業況改善の見通しは立たない」の項目が 25.4%となるが差は少ない。一方神明地区は、同じく「1 年後」の項目が一番多く 23.9%、次いで「2 年後」19.3%であるが、3 番目として「すでに上向いている」が 16.8%を占めている。業種別では、卸売業・小売業が「業況改善の見通しが立たない」が最も多く業種間での温度差が窺える。



問５　資金繰り以外の事業計画・戦略等の策定・実行支援として、地域金融機関に求めることはありますか。

事業計画・戦略等の策定・実行支援として金融機関に求める問いに対し最も多かったのが「各種補助金・助成金等の活用支援」で 67.2%を占め、次に多かったのが「ビジネスマッチング・顧客紹介」の 29.8%となっている。一方で、「資金繰り支援以外に求めるものはない」が 3 番目に多い 13.9%であった。地区別・業種別でも同様の割合での回答となっている（複数回答含む）。コロナ禍による経済環境への影響は来年度も続くと考えられ、事業継続をする上で資金繰り支援以外での支援も強く求めている事が窺える。



わたしたちのマチの元気企業 ⑬

食品とサービスを事業とする企業

ユーアールエー株式会社

ＵＲＡは、淡路島出身で三洋電機株式会社の創業者でもある故井植歳男が郷土淡路島の発展を願って創立（創業「浦観光株式会社」、平成４年「ユーアールエー株式会社」に改称）以来、淡路島を基盤にフードサービスの分野で歩んでまいりました。平成10年には、明石海峡大橋開通に伴い開園した「淡路ハイウェイオアシス」を兵庫県より運営委託し、淡路島新時代に貢献する企業としての新たな一歩を踏み出しました。
また設立当初より京阪神・四国方面等へも事業展開を積極的に推進し、多様な場面でフードを手段にハート・ホスピタリティーを提案しています。
ＵＲＡでは、このホスピタリティーを提供するために、スタッフ自らがハッピーとなり、「ハッピーな雰囲気づくり」「ハッピーな集団づくり」を目指しています。この小さなハッピーをお客さまとともに育ててゆくこと。
それがＵＲＡのＣＩです。

〒656-2302兵庫県淡路市大磯６番地
TEL0799-74-3257 FAX0799-74-4974
http://www.ura.co.jp

AWAJI BEER は淡路島唯一のクラフトビールとして、1998 年より販売を続けています。「島時間が育てる、世界に一つのクラフトビール」というコンセプトを掲げ、現在 6 種のビールを展開しています。
2018 年には、世界で 3 番目の歴史を持つ、世界 5 大ビール審査会の 1 つ「インターナショナル・ビアカップ 2018」にて「あわぢびーる ピルスナー」が金賞、「あわぢびーる アルト」が銅賞を受賞し、さらなる進化を続けているクラフトビールです。

Awaji Brewery

〒656-2305 兵庫県淡路市浦 1022-2　　http://awajibrewery.com/
TEL 0799-74-0339 FAX 0799-74-0066

カフェレストラン

Galleri

あわじ花さじきテラス館 2F
(兵庫県淡路市楠本 2805-7)
https://www.gallericafe.com/

営業時間：9 時～ 17 時（ラストオーダー 16 時 30 分）年中無休：※施設休館日に準ずる
TEL　　：0799-75-3710　客席数　室内席：86 席 (テラス席：46 席)

令和 2 年兵庫県より受託オープンしました。「Galleri(ギャラリ)」とは、デンマーク語で「桟敷（さじき）」を意味し、明石海峡・大阪湾を背景とした花の大パノラマにふさわしい、デンマークの国民食オープンサンド「Smørrebrød(スモーブロー)」をはじめ、高品質で有名なマイテイリーフ社のオーガニックティー各種やクラフトビール (AWAJI BEER) 等が、樽生でご堪能いただけます。メニュー監修と総合プロデュースは、ミシュランガイド東京にて 7 年連続で星を獲得した前田慎也氏が担当。

わたしたちのマチの元気企業 ⑭

三清ゴム工業株式会社

ゴムスポンジ・ゴム・シリコンで あらゆるニーズをカタチにします。
三清ゴム工業㈱は 1971 年の創業以来、ゴムスポンジの製造を行ってきました。
50 年もの長きに亘ってこのユニークな工業製品が愛されているのは、先代社長が開発した発泡技術が現代においても十分通用する革新的なものであったという裏付けでもあります。
現在はその稀有な技術を継承しつつ新しい分野に挑戦し続けています。

主な取引先は住宅設備系、建設系、工業機械系、鉄道系など多岐にわたります。
その中でも鉄道で使用される床下機器用のパッキンは40年以上の実績があります。
今まで作ったパッキンを 1 本にするとなんと約 1000km！！
だいたい東京～福岡間くらいの長さになります。
ちなみに1本が約1Mなので100万本も作ったことになります。
今でも【三清の源泉】として当時のパッキンが事務所に飾られています。
そこに書かれている「一滴の水も積めば、湖水となる」はこのことをよく表していると感じています。

近年ではシリコンゴムを発泡させたシリコンスポンジ（フォーム）がメインの製品で玩具やグリップ、理化学用品等にと幅広く使われています。
さらに技術を応用し筋電義手用シリコングローブなども製品化、3D プリンタ導入など、毎日進化し続けています。

〒653-0054 神戸市長田区長楽町 6-2-13
tel:078-735-2408 / fax:078-735-2294
https://sp-sansei.com/